

第14回 奥むさし駅伝競走大会

【出場結果】

実施日 : 1月31日(日)

場所 : 東飯能駅西口前～西吾野駅前折返し～飯能市内銀座通り(きもの処かきめま前)

総距離 : 6区間 38.5km チーム成績 : 1時間58分30秒 5/143位

出場者・リザルト	1区	八木沢直也	8/143位	30分18秒
	2区	小原 大輔	14/143位	17分23秒
	3区	砂原 健次	9/143位	13分39秒
	4区	松谷 公靖	7/143位	13分32秒
	5区	平塚 祐三	4/143位	15分11秒
	6区	石原 洸	2/143位	28分27秒

【レポート】

当日は快晴で風もなく、駅伝には絶好の条件となり、高校一般併せて209チームが東飯能駅前から一斉にスタートしました。

今年の1区を任された八木沢は、ハイペースでレースが進む中、中間点までは先頭集団が見える位置で冷静に走ります。上りに入りギアチェンジすると、集団から遅れてくる選手を拾いながらトップとは17秒差の一般8位で2区へ。



1区 八木沢選手

2区は、中盤から上りが続くコース。ここには昨年末から好調を維持している小原を起用。職場の先輩でもある八木沢から襷を受けた小原は、近くにいた集団を使いながら前方の先頭集団を追い駆けますが、スタート直後に痛めた足の影響により途中から苦しい走りとなります。そんな厳しい状況の中も、襷を待つチームメイトの為に最後まで必死に走り抜き、10位にて3区へ襷を繋ぎます。



2区 小原選手

3区は、西吾野に向かって更に上っていくコースで、4kmという短い区間のため、上りの強さとともにスピードが求められます。ここにはスピードとパワーを兼ね揃えた砂原を配置。砂原は、襷を受けると同時にスピードを上げて、前に並ぶ選手達を追い上げます。最後までその勢いで走り切り、順位を3つ押し上げ7位で4区へ。



3区 砂原選手

4区は西吾野を折り返して復路に変わりレースも中盤に移ります。ここは距離も短い下りコースで、スピード勝負の区間です。4区に起用の松谷は、襷を受け、前を行く大学チームに並ぶと、その勢いまま先頭チームを追い続け、順位を6位に上げて5区へ。



4区 松谷選手

5区は吾野から東吾野へと下るコースで、レースも残すところ2区間となり、終盤の順位争いへ移ります。今年の5区は、春先にトラック種目で活躍した新人の平塚を起用します。平塚は、スタートからハイペースで前を追いつけ、順位はそのままながら区間賞と秒差の走りで最終6区へ。



4区松谷選手から5区平塚選手への襷リレー

6区は、大会2番目に距離の長い最終区間で、激しい下りを攻略し、勢いそのままに飯能銀座通りのゴールを目指します。今年の6区も、堅実で安定感のある走りに定評のある石原で、チームからの信頼も厚く、今年からキャプテンに任命されました。その石原は、終始気迫のこもった熱い走りで、最後の最後まで力を振り絞り、1つ順位を上げ5位にて、多くの会社関係者の待つゴールに飛び込み、今年のレースを終えました。



6区 5位でゴールする石原選手

【総括】

今大会では、勢いのある新戦力も加入し、第1回大会以来の優勝を目指しましたが、5位という悔しい結果に終わりました。

その中でも、昨年よりも順位をアップさせたことは、チーム力が確実に上向いている証であります。

近年、奥むさし駅伝は有力実業団チームや箱根駅伝に出場した大学選手の出場が増え、年々レベルが上がっておりますが、地元飯能での優勝を達成すべく、これからも日々のトレーニングに励んで参ります。

なお、2月7日（日）には埼玉県駅伝が開催されますので、駅伝シーズンを良い形で締めくくれるよう、奥むさし駅伝の内容と結果を踏まえ最善の準備をして参ります。

最後になりましたが、本年も早朝から沿道に駆け付けていただき、ご声援をいただきました、森川社長をはじめとする役員の皆様、会社関係者の皆様、本大会の役員としてご尽力いただいた会社関係者の皆様に、あらためましてチーム一同御礼申し上げます。

今後もチーム一丸となって、精一杯活動して参りますので、引続きまして、ご声援賜いますよう宜しくお願い致します。有難う御座いました。

以 上